

平成30年度

鳥取大学大学院

持続性社会創生科学研究科地域学専攻

(博士前期課程)

学生募集要項

推 薦 入 試
一 般 入 試
外国人留学生特別入試
社会人特別入試

鳥 取 大 学

〒680-8551 鳥取市湖山町南4丁目101番地

電話 (0857) 31-5178(直通)

<http://www.tottori-u.ac.jp>

平成30年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科
地域学専攻入試日程

事 項	日 程		
	推 薦 入 試	一般入試・外国人留学生特別入試・社会人特別入試	
		第 1 回	第 2 回
出願資格事前 審査申請期間		平成29年10月13日(金) ～ 10月18日(水)	平成30年 1月 4日(木) ～ 1月 9日(火)
出 願 期 間	平成29年 8月28日(月) ～ 8月31日(木)	平成29年10月27日(金) ～ 11月 1日(水)	平成30年 1月17日(水) ～ 1月22日(月)
入 学 試 験 日	平成29年 9月12日(火)	平成29年12月 3日(日)	平成30年 2月20日(火)
合 格 発 表	平成29年 9月22日(金)	平成29年12月14日(木)	平成30年 3月 1日(木)
入 学 手 続	平成30年3月の指定された期間		

◎ 受験に関する問い合わせ先

鳥取大学地域学部教務係

〒680-8551 鳥取市湖山町南4丁目101番地

Tel: 0857-31-5178 (直通)

E-mail: reg-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

目 次

	ページ
第1 入試の共通事項	
1. 入試の概要	1
2. 募集人員	1
3. 出願資格	1
4. 出願期間	2
5. 出願手続	2
6. 障がい等のある入学志願者の事前相談	3
7. 試験日及び試験場	3
8. 受験に当たっての留意事項	3
9. 合格者の発表	3
10. 入学手続	4
11. 入学料・授業料の免除・奨学融資制度・奨学金制度等	4
12. その他	4
第2 出願資格事前審査の手続	5
第3 推薦入試	6
第4 一般入試	8
第5 外国人留学生特別入試	10
第6 社会人特別入試	12
第7 持続性社会創生科学研究科地域学専攻の概要	14

添付書類

入学志願票，写真票・受験票，
志望理由書，研究計画書，推薦書
入学試験出願資格事前審査申請書・履歴書，
研究従事内容等申立書等

第1 入試の共通事項

1. 入試の概要

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科地域学専攻の学生募集は、推薦入試、一般入試、外国人留学生特別入試及び社会人特別入試により行います。この募集要項では、最初に共通事項を説明したのち、それぞれの入試について詳細に説明します。

2. 募集人員

コース	分野	募集人員
地域創生コース	地域創造分野	10人
	国際地域文化分野	
人間形成コース	発達科学分野	10人
	学習科学分野	
計		20人

(注) 募集人員は、推薦入試、一般入試、外国人留学生特別入試及び社会人特別入試の募集人員を合計した人数です。

3. 出願資格

【推薦入試】

次のすべてに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学業成績、人物ともに優れ、将来地域の創生や人づくりに貢献する意欲のある者
- (3) 合格した場合は入学が確約できる者

【一般入試、外国人留学生特別入試、社会人特別入試】

次のいずれかに該当する者

※このうち、(3)、(4)、(6)及び(9)～(11)については、出願資格事前審査が必要です。
(5 ページの「第2 出願資格事前審査の手続」参照)

- (1) 学校教育法第83条に定める大学（以下「大学」という）を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつ

て前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者〔昭和28年2月7日文部省告示第5号－(注1)参照〕
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、本研究科が定める大学の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び平成30年3月31日までに22歳に達する者－(注2)参照

(注1) 昭和28年2月7日文部省告示第5号(抄)

「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者で22歳に達した者」等

(注2) これは、主に短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業生・修了者等大学卒業資格を有していない者であっても、本研究科における個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者について出願資格を認めるものです。

4. 出願期間

- * 推薦入試 …… 平成29年 8月28日(月)～平成29年 8月31日(木) 17時まで(必着)
- * 第1回 …… 平成29年10月27日(金)～平成29年11月 1日(水) 17時まで(必着)
- * 第2回 …… 平成30年 1月17日(水)～平成30年 1月22日(月) 17時まで(必着)

- (1) 直接持参の場合の受付時間は、9時から17時まで。
- (2) 郵送の場合は書留速達郵便とし、封筒の表に「大学院持続性社会創生科学研究科地域学専攻出願書類在中」と朱書の上、出願期間最終日の17時までに必着するよう送付してください。
これ以降に到着した場合は、出願期間最終日以前日の発信局消印があるものに限り受け付けます。郵便事情を十分に考慮して発送してください。

5. 出願手続

- (1) 出願書類提出先
〒680-8551 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学地域学部教務係
- (2) 出願書類等
推薦入試、一般入試、外国人留学生特別入試及び社会人特別入試のそれぞれの入試について説明されているページを参照してください。
- (3) コース、分野の記入
志願票には、必ず志願するコース、分野を記入してください。一般入試の志願者においては、受験する科目を必ず志願票に記入してください。
- (4) 事前相談
出願する前に必ず本学の指導希望教員と相談してから出願するようにしてください。
詳細については、地域学部教務係(電話(0857)31-5178)へ問い合わせてください。

6. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上特別な配慮等を必要とする者は、推薦入試の場合は平成29年8月18日（金）、第1回の場合は平成29年10月18日（水）、第2回の場合は平成30年1月9日（火）までに、次の事項を記載した文書（様式自由）に障害者手帳の写し又は医師の意見書等を添えて、鳥取大学地域学部教務係へ提出してください。

また、上記期限後に、不慮の事故等により配慮が必要となった者は、速やかに相談してください。

なお、本研究科が必要と認めた場合には、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る者等との面談等を行います。

- (1) 志願者の氏名及び住所、志望コース・分野、希望指導教員名
- (2) 障がいの種類・程度
- (3) 受験上特別な配慮を希望する事項
- (4) 修学上特別な配慮を希望する事項
- (5) 出身大学等でとられていた特別措置
- (6) 日常生活の状況

7. 試験日及び試験場

- (1) 試験日 * 推薦入試 …… 平成29年 9月12日（火）
 * 第1回 …… 平成29年12月 3日（日）
 * 第2回 …… 平成30年 2月20日（火）
- (2) 試験場 鳥取大学地域学部
 鳥取市湖山町南4丁目101番地
 試験室等については、試験日の前日に地域学部入口に掲示します。

8. 受験に当たっての留意事項

- (1) 受験票を必ず持参し、試験の際は机の上に置いてください。
- (2) 最初に受験する試験の開始時刻30分前までに集合してください。
- (3) 各試験の開始時刻15分前までに試験室に入室してください。
- (4) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
- (5) 試験開始から終了までの間は退出を認めません。試験中の発病、用便等やむを得ない場合には手を挙げて試験監督委員の指示に従ってください。
- (6) 試験科目（面接を含む。）のうち1科目でも受験しなかった者は、選考の対象になりません。
- (7) 筆記試験の際、机の上には、黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、定規、鉛筆削り（電動式を除く。）、時計（計時機能だけのものに限る。）、眼鏡、辞書（一般入試の英語の試験時のみ。ただし、辞書機能をもった電子機器類は不可）以外の携行品を置くことはできません。
- (8) 試験開始・終了の合図は、試験監督委員が行います。
- (9) 携帯電話等は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。
- (10) 本学は、構内全面禁煙です。

9. 合格者の発表

- * 推薦入試 …… 平成29年 9月22日（金） 午前11時
- * 第1回 …… 平成29年12月14日（木） 午前11時
- * 第2回 …… 平成30年 3月 1日（木） 午前11時

合格者に合格通知書を郵送するとともに、地域学部入口に合格者の受験番号を掲示します。また、午前11時頃、本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

(<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>)

なお、電話等による照会には一切応じません。

10. 入学手続

- (1) 入学手続期間
平成30年3月の指定された期間
(手続の方法等詳細については、平成30年3月初旬に改めて通知します。)
 - (2) 授業料等納付金
 - ① 入学料 282,000 円(予定額)
 - ② 授業料(前期分) 267,900 円(予定額) [年額535,800 円(予定額)]
- (注) ア. 入学料・授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料・授業料を納入していただくこととなりますのでご了承ください。
イ. 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。
ウ. 授業料の納入方法については、入学手続案内時に改めて通知します。

11. 入学料・授業料の免除・奨学融資制度・奨学金制度等

- (1) 入学料免除(徴収猶予)及び授業料免除について
次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除(全額又は半額)される制度があります。
 - ① 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
 - ② 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
 - ③ ②に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合詳細については、学生部生活支援課奨学係(TEL(0857)31-5059・6776)へお問い合わせください。
- (2) 入学料及び授業料の奨学融資制度について
入学料・授業料の免除又は徴収猶予を申請し、免除等の結果が出た後、本人の申請に基づき、本学が指定する金融機関から、入学料又は授業料の融資(ローン)を受けられる制度があります。(申込対象者)
入学料・授業料の免除又は徴収猶予申請者のうち、免除等の基準を満たしている者
※ 金融機関の融資審査により、融資を受けられない場合があります。
※ 融資額の返済は、本学を卒業(修了)後、元金及び利息分を月賦払い等により返済することになります。なお、在学中の利息分は本学が支払うため、学生の負担はありません。
詳細については、学生部生活支援課奨学係(TEL(0857)31-5059・6776)へお問い合わせください。
- (3) 奨学金制度について
独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。
詳細については、学生部生活支援課奨学係(TEL(0857)31-5059・6776)へお問い合わせください。

12. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求するときは、返信用封筒(角型2号)(郵便番号、住所、氏名を明記し、205円(速達の場合は、485円)の切手を貼ったもの)を同封の上、「大学院持続性社会創生科学研究科地域学専攻学生募集要項請求」と朱書きし、請求してください。
- (2) 受験に関する照会は、表紙裏に記載の問い合わせ先へ郵便または電子メールにより行ってください。
郵便の場合、郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手を貼った返信用封筒を同封してください。

第2 出願資格事前審査の手続

事前審査を必要とする場合の出願資格は、1ページの「3. 出願資格【一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試】」のうち(3)，(4)，(6)及び(9)～(11)のいずれかに該当する場合です。

該当する志願者は、事前審査に必要な書類を事前審査申請期間内に地域学部教務係へ提出してください。

(注：以前地域学研究科で出願資格を認定された者は、認定通知書(写)を提出することで、事前審査を省略できます。)

1. 事前審査申請期間

* 第1回 …… 平成29年10月13日(金)～平成29年10月18日(水) 17時まで(必着)

* 第2回 …… 平成30年 1月 4日(木)～平成30年 1月 9日(火) 17時まで(必着)

2. 事前審査に必要な書類

必要な書類	出 願 資 格					備 考
	(3)(4) (6)	(9) (外国の学校教育15年 修了者)	(9) (大学に3年以上 在学者)	(10)	(11)	
入学試験出願資格事前審査申請書	○	○	○	○	○	所定の用紙
履 歴 書	○	○	○	○	○	所定の用紙
最終学校の卒業・修了(見込)証明書	○	○			○	
学位授与(授与見込)証明書	○	○				
在学する大学(大学院)の在学証明書			○	○		
在学した大学の在籍証明書				○		
最終学校の成績証明書	○	○			○	
在学する大学の成績証明書			○			
在学した大学の成績証明書				○		
研究従事内容等申立書及び関連の参考資料					○	所定の用紙

備考 ① 大学を2つ以上卒業(見込)している場合は、全ての大学の卒業(見込)証明書・成績証明書を提出してください。(原本を提出すること)

② 公的機関で発行する証明書は、原則として日本語又は英語表記に限ります。それら以外の言語表記による場合は、日本語訳(訳者の氏名・所属を明記)を添付してください。

第3 推 薦 入 試

1. 受験対象者

推薦入試を受験できる者は、1ページの「3. 出願資格【推薦入試】」のすべてに該当する者です。

2. 出願書類

区 分	提出該当者	備 考
(1) 入学志願票	全 員	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
(2) 写真票・受験票	全 員	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm, 上半身・無帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを)貼ってください。
(3) 志望理由書	全 員	本学所定の用紙により、簡潔、具体的に記入してください。
(4) 研究計画書	全 員	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
(5) 推薦書	全 員	本学所定の用紙により指導教員(もしくはこれに準ずる者)が作成、厳封したものを提出してください。
(6) 卒業証明書又は卒業見込証明書	全 員	出身大学長又は学部長等の作成したものを提出してください。
(7) 成績証明書	全 員	出身大学長又は学部長等が作成し、厳封したものを提出してください。
(8) 検定料	全 員	30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口(郵便局, ゆうちょ銀行を除く)から振り込みのうえ、「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。 「受取書(本人保存)」は領収書となります。検定料返還の際に必要ですので保管しておいてください。 検定料は、平成29年8月18日(金)～8月31日(木)までの期間に振り込んでください。なお、既納の検定料は、次の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。 a. 検定料を振り込んだが出願しなかった場合 b. 検定料を振り込んだが願書が受理されなかった場合 c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
(9) 受験票等送付用封筒	郵送を希望する者	定形型封筒(長形3号 縦23.5cm, 横12cm)に、郵便切手362円分(速達料を含む)を貼り、郵便番号, 住所, 氏名を明記してください。

- 備考 ① 公的機関で発行する証明書は、日本語に限ります。
② 出願受付後のコース・分野の変更は認めません。

3. 入試方法

入学者の選抜は、面接及び出願書類審査（研究計画書、志望理由書、推薦書及び出身大学等の学長又は学部長が作成した成績証明書等）の結果に基づいて総合的に判定します。

なお、面接は、主に研究計画をもとに行います。

4. 試験時間

科目等	試験時間
面接	9:30～

第 4 一 般 入 試

1. 受験対象者

一般入試を受験できる者は、1 ページの「3. 出願資格【一般入試, 外国人留学生特別入試, 社会人特別入試】」のいずれかに該当する者です。

2. 出願書類

区 分	提出該当者	備 考
(1) 入学志願票	全 員	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
(2) 写真票・受験票	全 員	本学所定の用紙に必要事項を記入し, 写真(縦4 cm×横3 cm, 上半身・無帽・正面向きで出願前3 か月以内に撮影したもの)を貼ってください。
(3) 志望理由書	全 員	本学所定の用紙により, 簡潔, 具体的に記入してください。
(4) 研究計画書	全 員	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
(5) 卒業(修了)証明書 又は卒業(修了)見 込証明書	出願資格(1), (3)~(7)の該 当者	出身大学長又は学部長等の作成したものを提出してください。
(6) 学士の学位授与証 明書又は修了見込 証明書	出願資格(2) の該当者	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。ただし, 短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科修了見込みの者は, 修了見込証明書及び学士の学位授与を申請する予定の証明書(所属長が発行したもの)を提出してください。
(7) 教育職員免許状授 与証明書又は教育 職員免許状の写し	出願資格(8) の該当者	免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したものを提出してください。
(8) 成績証明書	全 員	出身大学長又は学部長等が作成し, 厳封したものを提出してください。
(9) 検定料	全 員	30,000円 本学所定の振込用紙を使用して, 最寄りの銀行窓口(郵便局, ゆうちょ銀行を除く)から振り込みのうえ, 「検定料振込済証明書」を必ず受け取り, 「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。 「受取書(本人保存)」は領収書となります。検定料返還の際に必要ですので保管しておいてください。 検定料は, 第1回を志願する場合は平成29年10月19日(木)~11月1日(水)・第2回を志願する場合は平成30年1月9日(火)~1月22日(月)までの期間に振り込んでください。なお, 既納の検定料は, 次の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。 a. 検定料を振り込んだが出願しなかった場合 b. 検定料を振り込んだが願書が受理されなかった場合 c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
(10) 受験票等送付用 封筒	郵送を希望 する者	定形型封筒(長形3号 縦23.5cm, 横12cm)に, 郵便切手362円分(速達料を含む)を貼り, 郵便番号, 住所, 氏名を明記してください。

備考 ① 公的機関で発行する証明書は, 原則として日本語又は英語表記に限ります。それら以外の言語表記による場合は, 日本語訳(訳者の氏名・所属を明記)を添付してください。

② 出願受付後のコース・分野の変更は認めません。

3. 入試方法

入学者の選抜は、学力筆記試験、面接及び出願書類審査（研究計画書、志望理由書及び出身大学等の学長又は学部長が作成した成績証明書等）の結果に基づいて総合的に判定します。

(1) 学力筆記試験

英語及び専門科目の試験を行います。

① 英語

地域学専攻共通の試験問題で行います。

試験室に辞書の持ち込みを認めます。ただし、辞書機能をもった電子機器類は持ち込みを認めません。

② 専門科目

専門科目は、分野ごとに異なります。（下表のとおり）

(2) 面接

主に研究計画をもとに行います。

表 分野別の専門科目

コース	分野	試験科目	備考
地域創生コース	地域創造分野	「地域創造学」	
	国際地域文化分野	「国際地域文化学」	
人間形成コース	発達科学分野	「心理学」, 「教育学」, 「保育学」, 「特別支援教育学」	左の科目の中から研究計画に関連した1科目を選択する。
	学習科学分野	「国語教育学」, 「社会科教育学」, 「数学教育学」, 「理科教育学」, 「音楽教育学」, 「美術教育学」, 「保健体育教育学」, 「技術教育学」, 「家庭科教育学」, 「英語教育学」	左の科目の中から研究計画に関連した1科目を選択する。

4. 試験時間

科目等	試験時間
英語	9:30～10:30 (60分)
専門科目	11:00～12:30 (90分)
面接	13:30～

第5 外国人留学生特別入試

1. 受験対象者

外国人留学生特別入試を受験できる者は、1ページの「3. 出願資格【一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試】」のいずれかに該当し、留学の在留資格を取得している者又は入学するまでに留学の在留資格を取得できる見込みの者です。

2. 出願書類

区 分	提出該当者	備 考
(1) 入学志願票	全 員	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
(2) 写真票・受験票	全 員	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm, 上半身・無帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影したもの)を貼ってください。
(3) 志望理由書	全 員	本学所定の用紙により、具体的に記入してください。
(4) 研究計画書	全 員	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
(5) 卒業(修了)証明書 又は卒業(修了)見 込証明書	出願資格(1), (3)~(7)の該 当者	出身大学長又は学部長等の作成したものを提出してください。
(6) 学士の学位授与証 明書又は修了見込 証明書	出願資格(2) の該当者	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。ただし、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学士の学位授与を申請する予定の証明書(所属長が発行したもの)を提出してください。
(7) 成績証明書	全 員	出身大学長又は学部長等が作成し、厳封したものを提出してください。
(8) 検定料	全 員	30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口(郵便局、ゆうちょ銀行を除く)から振り込みのうえ、「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。 「受取書(本人保存)」は領収書となります。検定料返還の際に必要ですので保管しておいてください。 検定料は、第1回を志願する場合は平成29年10月19日(木)~11月1日(水)・第2回を志願する場合は平成30年1月9日(火)~1月22日(月)までの期間に振り込んでください。なお、既納の検定料は、次の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。 a. 検定料を振り込んだが出願しなかった場合 b. 検定料を振り込んだが願書が受理されなかった場合 c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
(9) 住民票等	全 員	日本に在住する外国人は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、その他の者はパスポートの写しを提出してください。
(10) 受験票等送付用 封筒	郵送を希望 する者	定形型封筒(長形3号 縦23.5cm, 横12cm)に、郵便切手362円分(速達料を含む)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記してください。

- 備考 ① 公的機関で発行する証明書は、原則として日本語又は英語表記に限ります。それら以外の言語表記による場合は、日本語訳(訳者の氏名・所属を明記)を添付してください。
 ② 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
 ③ 出願受付後のコース・分野の変更は認めません。

3. 入試方法

入学者の選抜は、小論文の成績、面接及び出願書類審査（研究計画書、志望理由書及び出身大学等の学長又は学部長が作成した成績証明書等）の結果に基づいて総合的に判定します。

- (1) 小論文
研究計画に関わる問題を課します。（日本語又は指示により英語で解答）
- (2) 面接
研究計画に基づき日本語で行います。

4. 試験時間

科目等	試験時間
小論文	11:00～12:30 (90分)
面接	13:30～

第6 社会人特別入試

1. 受験対象者

社会人特別入試を受験できる者は、1ページの「3. 出願資格【一般入試、外国人留学生特別入試、社会人特別入試】」のいずれかを満たした後、3年間（見込みも含む）以上の実務経験（家事従事等を含む）を有している者です。ただし、出願資格(11)で受験する者は、平成30年3月31日までに25歳に達する者としてします。

受験対象者に該当するかどうか不明の場合は、地域学部教務係にお問い合わせください。

2. 出願書類

区 分	提出該当者	備 考
(1) 入学志願票	全 員	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。
(2) 写真票・受験票	全 員	本研究科所定の用紙に必要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを)を貼ってください。
(3) 志望理由書	全 員	本研究科所定の用紙により、具体的に記入してください。
(4) 研究計画書	全 員	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。
(5) 卒業証明書	出願資格(1)、(3)～(7)の該当者	出身大学長又は学部長等の作成したものを提出してください。
(6) 学士の学位授与証明書	出願資格(2)の該当者	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したものを提出してください。
(7) 成績証明書	全 員	出身大学長又は学部長等が作成し、厳封したものを提出してください。
(8) 検定料	全 員	30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口(郵便局、ゆうちょ銀行を除く)から振り込みのうえ、「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。 「受取書(本人保存)」は領収書となります。検定料返還の際に必要ですので保管しておいてください。 検定料は、第1回を志願する場合は平成29年10月19日(木)～11月1日(水)・第2回を志願する場合は平成30年1月9日(火)～1月22日(月)までの期間に振り込んでください。なお、既納の検定料は、次の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。 a. 検定料を振り込んだが出願しなかった場合 b. 検定料を振り込んだが願書が受理されなかった場合 c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
(9) 受験票等送付用封筒	郵送を希望する者	定形型封筒(長形3号 縦23.5cm,横12cm)に、郵便切手362円分(速達料を含む)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記してください。

備考 ① 公的機関で発行する証明書は、原則として日本語又は英語表記に限ります。それら以外の言語表記による場合は、日本語訳(訳者の氏名・所属を明記)を添付してください。

② 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

③ 出願受付後のコース・分野の変更は認めません。

3. 入試方法

入学者の選抜は、小論文の成績、面接及び出願書類審査（研究計画書、志望理由書及び出身大学等の学長又は学部長が作成した成績証明書等）の結果に基づいて総合的に判定します。

- (1) 小論文
研究計画に関わる問題を課します。
- (2) 面接
研究計画に基づき行います。

4. 試験時間

科目等	試験時間
小論文	11:00～12:30 (90分)
面接	13:30～

第7 持続性社会創生科学研究科地域学専攻の概要

1. 教育研究上の理念, 目的

持続性社会創生科学研究科は、わが国とわが国を取り巻く経済、社会、環境が大きく変わろうとしている中で、地球規模の課題と地域の課題に対する幅広い理解のもとに、自らの専門性を活かして持続可能な社会の創生を担っていくための人材を育てることを目的としています。従来の学問分野の枠を超えて、持続可能な社会づくりに関わる俯瞰的な思考力を身に付けた人材養成を行うため、本研究科博士前期課程には、地域学専攻、工学専攻、農学専攻及び国際乾燥地科学専攻を設置します。

人口減少・高齢化社会、グローバル化時代に向けた持続可能な社会の創生に当たっては、地域の人々の生活、文化、教育等の面において社会の仕組みづくりに関わる知識と能力をもった人材の養成が求められています。

地域学専攻は、このような社会ニーズに地域学の観点から対応し、高度な専門性を身に付けさせるため、地域創造分野と国際地域文化分野から成る地域創生コースと、発達科学分野と学習科学分野から成る人間形成コースの2コースを設けます。さらに、専門を超えた教員からも指導を受けることができる教育体制をとることにより、地域の仕組みづくりと地域の人づくりを並立させて地域を創生する人材を養成します。

2. 養成する人材像

地域学専攻では、個性豊かで持続可能な地域の創生、生涯発達・地域教育に立脚した人間形成のために、地域を総合的に把握する能力を有し、かつ高度で専門的な知識と実践力を兼ね備えた人材を養成します。

【地域創生コース】

公共的課題の解決や個性豊かで持続可能な地域の創生、国内外の様々な文化を通じた「生の充実」、「つながりの創出」をめざすために、コミュニティネットワークの形成や地域政策立案、文化資源の活用などを担う地域づくりのスペシャリストを養成します。

・地域創造分野

深い見識と幅広い視野をもって人文社会諸科学の最新の研究成果を駆使し、地域からのボトムアップによる政策形成やコミュニティの構築を担う高度な実践力を備えた人材を養成します。

・国際地域文化分野

日本を含む海外の様々な文化・芸術の異質性を深く理解し、クリエイティブで実践的な活動を通じて、様々な地域の現地・現場に向き合うことができる人材を養成します。

【人間形成コース】

人間形成に関わる諸理論と実践を学び、地域の教育資源を活用した生涯にわたる人づくりという視点から、地域課題に対応した持続的発展の一環としての活動を担うスペシャリストを養成します。

・発達科学分野

人間発達に関する心理学、教育学、特別支援教育学、保育学などの多分野からの複合的なアプローチを重視した理論的および実践的な教育研究を行います。そして地域の人々の豊かな生涯発達を計画し支援できる高度な専門的力を持った、地域における人づくりを主導する人材を養成します。

・学習科学分野

様々な発達段階にいる年齢層の学習者たちがこれからの生涯学習社会の主体となれるよう、その学習過程、学習支援、あるいはその実践について教育研究を行います。そして地域のすべての人々が生涯にわたって豊かで文化的な生活を送るための基礎である学習能力形成の支援を行う人材を養成します。

地域創生コースは「地域づくり」を、人間形成コースは地域づくりに不可欠な「地域の人づくり」を主導する人材を養成します。また、1専攻にこの2コースが存在することにより、地域づくりをその担い手づくりと結びつけて構想できる人材、また地域の人づくりを地域づくりと結びつけて構想できる人材を養成します。

3. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

持続性社会創生科学研究科（博士前期課程）では、地球規模の課題と地域の課題に対する幅広い理解のもとに、自らの専門性を活かして持続性社会の創生を担おうとする、以下の意識と意欲を持った人を求めています。

- (1) 専門分野において自ら課題を発見して解決するために必要な基礎学力を備えている人
- (2) 研究に対して広い視野で積極的に取り組む意欲を持っている人
- (3) 高度な専門性を必要とする職業を担おうとする人

持続性社会創生科学研究科では、こうした入学者を国内外から受け入れるために、多様な入試方法によりその適性を確認します。

研究科の「入学者受入れの方針」に加えて、地域学専攻では、地域の諸課題を科学的・学際的かつ実践的に探求することを通じて、幅広い視野と豊かな創造力を持って地域社会の発展に貢献できる高度専門職業人や研究者を目指そうとする人を求めています。

4. 学位の名称及び教育課程

(1) 学位の名称

地域創生コースの修了者の学位は修士（地域学）（Master of Regional Sciences）、人間形成コースの修了者の学位は修士（教育学）（Master of Education）です。

(2) 教育課程の編成の考え方及び特色

持続可能社会の創生という課題に向けて、自ら考えるとともに、様々な専門分野の人々と連携して答えを見つけ出ししていくことができる能力を養うために、従来の伝統的な専門分野を超えて幅広く学び、かつ専門性を深めることが可能となるようカリキュラムを編成しています。

① 研究科共通科目の概要

・研究科共通科目【基盤科目】

高度専門職業人としての素養を身に付けるとともに、持続可能社会について広く理解をし、持続可能な社会をつくっていくための基本的な知識を総合的に学べる科目です。

・研究科共通科目【超領域科目】

持続可能社会に関して俯瞰的に物事が考究できる能力を身に付けるため、専門領域を超えて体系的に学べるように、「環境」、「地域」、「グローバル」の科目群から構成される科目です。

② 専門科目の概要

地域学専攻では、公共的課題の解決や個性豊かで持続可能な地域づくりに関わる必要な専門性を深めさせるため、以下の科目群を設置します。

・専門科目【基幹科目】

専攻共通として、修士論文を指導教育する「特別研究Ⅰ・Ⅱ」を設けます。

・専門科目【展開科目（地域創生コース）】

地域創生コースでは、これまで本学で実施してきた地域づくり人材を育成するための地域学をベースに、公共的課題の解決や個性豊かで持続可能な地域づくりに必要な専門性を深める科目を設置します。また、地域学と工学の教育資源を融合し総合的な力を養うプログラムとして、地域マネジメントスタディズを設けます。

・専門科目【展開科目（人間形成コース）】

人間形成コースでは、地域づくりのための幅広い分野の知識を修得させ、地域で活動する人々の生涯にわたる人間形成を通して地域づくりに必要な専門性を深める科目を設けます。

5. 履修指導、研究指導の方法及び修了要件

(1) 履修指導の方法

- ・入学を許可された学生は、志願時に提出した研究計画、テーマに応じて教育研究分野を選択します。これにより当該分野所属の教員の中から指導教員が決定されます。
- ・必修科目のほか、選択科目については指導教員の指導・助言により履修計画を立てます。
- ・社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条の適用や、長期履修制度を導入します。これらの適用を希望する学生には、出願時又は入学時にその旨を申請させ、入学後の審査により適用の可否を決定します。

- ・大学院設置基準第14条を適用する学生は、指導教員との面談により開講時間、開講期間などを設定して履修計画を立てます。このうち通常履修を1年間とする学生については、1年次に特別研究Ⅱを除く必要単位を修得できるように履修計画を指導します。
- ・長期履修制度の適用学生には、希望する期間で修了できるように履修計画を指導します。
- ・1年以上在籍し、特に優れた業績をあげた学生には個別に必要な履修及び研究指導を行い、2年未満で修了できるように指導することができます。
- ・他の大学院研究科での修得単位を認定する制度を導入しており、当該学生には個別的に必要な履修指導を行います。

(2) 研究指導の方法

- ・学生の希望を重視し、研究テーマについて、指導教員との十分な相談により決定して研究計画を立てます。
- ・研究計画を遂行する際の欠かせない知識や方法、研究テーマの背景となる類似研究の事例などを、「特別研究Ⅰ」の教育研究課題として取り上げ、指導します。
- ・「特別研究Ⅰ」及び講義・演習を通して修得した知識と手法をもとに、「特別研究Ⅱ」では修士論文の作成に向けて研究テーマに沿った研究を進めます。
- ・「特別研究Ⅰ」の時間以外にも、随時研究指導を行います。

(3) 修了要件

修了要件は、本研究科に2年以上在学し、所定の授業科目30単位以上を修得し、かつ必要な教育指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格した者とします。ただし、大学院設置基準16条に基づき、特に優れた業績をあげ、大学院に1年以上在学したものについては、在学期間を2年未満とすることができます。また、社会人学生対象の長期履修制度による在学期間は、最長4年間となります。

6. 修了後の進路

地域創生コース修了生の進路としては、公共政策に関わる自治体やシンクタンクの職員、金融機関や各種コンサルタンツなどの民間企業の職員、地域からのボトムアップにより種々の課題に対応するNPOやNGOの職員及び中学校・高等学校の教諭などがあります。

また、人間形成コース修了生の進路としては、生涯教育や教育計画にかかわる自治体職員、保育所など福祉施設の職員、教育関連企業の職員、特に学校づくりや学習支援能力を要求される小学校・特別支援学校・幼稚園の教諭などがあります。

7. 留学生及び社会人の受け入れ

(1) 留学生受け入れのための措置

近隣諸国の学習熱の高揚に応えるため、留学生の受け入れを積極的に行います。特に、交流協定締結校からの留学生受け入れを促進します。また、履修指導・修士論文作成指導にあたっては、留学生の背景を考慮しながら留学生の問題意識がより明確となるよう綿密に行います。

(2) 社会人受け入れのための措置

生涯学習などの社会的ニーズや地域の再生・発展という地域社会からの要望に応え、リカレント教育のための社会人、特に現職教員、地方自治体職員、企業職員及び地域づくりに取り組んでいるNPOなどの職員を積極的に受け入れます。しかしながら、仕事を持つ社会人の場合、通常の就学形態で昼間に通学することは一般的には困難が予想されます。本研究科では、その困難を緩和するために次のような措置を行っています。まず、必要に応じて夜間その他の特定の時間等に授業を実施しています。また、最長4年間の履修期間を可能とする長期履修制度を導入しています。

(参考)

通常授業時間帯		教育方法の特例措置による夜間授業時間帯	
1 時限目	8 : 45～10 : 15	6 時限目	18 : 10～19 : 40
2 時限目	10 : 30～12 : 00	7 時限目	19 : 50～21 : 20
3 時限目	13 : 00～14 : 30		
4 時限目	14 : 45～16 : 15		
5 時限目	16 : 30～18 : 00		

① 教育方法の特例措置の適用（派遣現職教員の場合）

学校教育法第1条に示す学校で3年以上の教職経験を有する者のうち、派遣母体である都道府県教育委員会・学校法人等の意向を勘案し、入学時に申請し許可を得ることにより特例措置を適用します。

履修方法は次のようになります。修士課程の修業年限2年のうち1年目は、研究科において研究及び履修に専念し、通常的时间帯に開講される科目を修得します。2年目は、在職校等においてその勤務と教育実践研究を並行し、研究科の指定した日に通学して研究指導を受けるとともに、定められた科目の履修を行います。2年目の履修に関しては、指導教員の指導の下に計画し、1年目の終了までに、あらかじめ決定します。

② 教育方法の特例措置の適用（派遣現職教員以外の社会人の場合）

教育方法の特例措置の適用については、入学時に申請し許可を得ることになります。

その上で通常時間帯以外の夜間、休業中の開講を希望することができます。詳細は地域学部教務係に問い合わせてください。

③ 長期履修制度の適用

長期履修制度は、2年間分の授業料で最長4年間在学できる制度です。この制度は、職業を有している等の理由により通常の標準修業年限（2年間）では修了が困難であると予想される者のために標準修業年限を超えて履修して修了を可能にするものです。長期履修制度の適用を希望する者は、希望する修業年数（3年又は4年）を入学手続時に申請する必要があります。詳細は地域学部教務係に問い合わせてください。

8. 取得できる教員免許状

持続性社会創生科学研究科地域学専攻を修了した者のうち、所定の授業科目の単位を取得すれば、次表の教員免許状（専修免許状）を取得することができます。なお、そのための基礎資格として、該当する校種・科目の一種教員免許状を所持していることが必要です。

コース名	取得できる教員免許状（専修免許状）
地域創生コース	中学校教諭（社会） 高等学校教諭（地理歴史，公民）
人間形成コース	幼稚園教諭 小学校教諭 特別支援学校教諭（知的障害者，肢体不自由者，病弱者）

9. 学部の授業科目の履修

大学院に入学後に、学部の授業科目の単位修得を希望する者は、学部の科目等履修生となって、学部の科目を履修することができます。

年間において5授業科目以内であれば聴講料は不要です。ただし、長期履修学生の場合は通算10授業科目までです。

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科地域学専攻
出願書類用紙

1. 入学志願票
2. 写真票・受験票
3. 志望理由書（両面記入）
4. 研究計画書（両面記入）
5. 推薦書
（推薦入試志願者のみ）
6. 入学試験出願資格事前審査申請書及び履歴書（両面記入）
（1～2ページに記載の出願資格【一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試】の(3)，(4)，(6)及び(9)～(11)の該当者のみ）
7. 研究従事内容等申立書
（1～2ページに記載の出願資格【一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試】の(11)の該当者のみ）

平成30年度
鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科地域学専攻入学志願票

入 試 種 別	該当する入試種別に○を付してください。		受 験 番 号	※	
	1. 推薦入試 2. 一般入試 3. 外国人留学生特別入試 4. 社会人特別入試				
フリガナ					
氏 名	(外国人の場合はパスポートネームを記入してください。)				
生年月日	年	月	日生	性 別	男 ・ 女
志望コース	コース	志望分野	分 野		
◎一般入試の志願者は、試験科目を記入してください。		◎入学後に指導を希望する教員の氏名を記入してください。 (出願する前に必ず指導希望教員と相談してください。)			
試 験 科 目			指導希望教員名		
出 願 資 格	卒 業 (見込) 大 学 名	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> 大学	学 部	学 科 ・ 課 程	
	その他の 資 格				
現 住 所	〒.....		電話又は携帯電話 () -		
合格時の通知先 (現住所と同一の 場合は記入不要)	〒.....		電話又は携帯電話 () -		
所有(見込)す る教育職員免 許状の種類			取得(見込)	年 月 日	
			年 月 日	年 月 日	

- (注) 1. ※印欄は記入しないでください。
2. 「所有する教育職員免許状の種類」欄は、幼1免、小1免、中1免(社)等と記入してください。

平成30年度 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科
地域学専攻 写 真 票

受験番号	※
フリガナ	
氏 名	
志望コース	コース
志望分野	分 野
試 験 科 目 名	(一般入試のみ)
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"><p>写真貼付欄</p><p>上半身・無帽・正 面向きで出願前3 か月以内に撮影し たものをのり付け にしてください。 (縦4cm×横3cm)</p></div>	

(注)※印欄は記入しないでください。

平成30年度 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科
地域学専攻 検定料振込済証明書貼付票

平成30年度 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科
地域学専攻 受 験 票

受験番号	※
フリガナ	
氏 名	
志望コース	コース
志望分野	分 野
試 験 科 目 名	(一般入試のみ)

(注)

- ※印欄は記入しないでください。
- 「試験科目名」は、分野別の試験科目を記入してください。
- この受験票は、入学手続きの際に必要ですので、受験後も大切に保管してください。

志望理由書

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科地域学専攻

受験番号	※
------	---

氏名	志望コース ・志望分野	コース 分野
----	----------------	-----------

1. 本研究科地域学専攻を志望した理由（簡潔，具体的に記入してください。）

見 本

氏 名		受験番号	※
-----	--	------	---

2. 修了後の将来の抱負（その概要を記入してください。）

見 本

- (注) 1. ※印欄は記入しないでください。
2. 上記の各事項について所定の欄に記入しきれない場合は、当該欄に「別紙に記入」と表示し、その事項を記入したものを添付してください。

研究計画書

受験番号 ※

氏名		志望コース ・志望分野	コース 分野
----	--	----------------	-----------

1. 研究計画

○研究課題

○研究計画

見本

氏名		受験番号	※
----	--	------	---

2. 研究活動等の概要

見 本

3. 学 歴	在 学 期 間	学 校 名 等
	年 月～ 年 月	-----
年 月～ 年 月	-----	
年 月～ 年 月	-----	
年 月～ 年 月	-----	
年 月～ 年 月	-----	
4. 卒業論文名		
5. 職 歴	在 職 期 間	勤務先・職種（常勤・非常勤の別）
	年 月～ 年 月	()
年 月～ 年 月	-----	()
年 月～ 年 月	-----	()
年 月～ 年 月	-----	()
年 月～ 年 月	-----	()

(注) 1. ※印欄は記入しないでください。
2. 次頁の注意事項をよく読んでください。

【研究計画書 記入上の注意】

1. 研究計画

本学大学院入学後の研究課題及び研究計画（内容）について記入してください。

2. 研究活動等の概要

これまでに個人又は共同で行った研究活動（卒業論文・卒業発表等を含む）や社会的な活動・実践等（研究計画に関連するもの）について、その概要を記入してください。

3. 学 歴

高等学校（又は、それに相当するもの）入学以後を記入してください。

4. 卒業論文名

学部の卒業論文名を記入してください。

5. 職 歴

職歴欄の勤務先・職種は具体的に記入してください。（例 ○○市立○○小学校教諭）

また、（ ）には常勤・非常勤の別を記入してください。

6. その他

上記の各事項について所定の欄に記入しきれないときは、当該欄に「別紙に記入」と表示し、その事項を記入したものを添付してください。

[地域学専攻推薦入試]

推薦書

平成 年 月 日

鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科長 殿

推薦者（所属・職名）

（氏 名） _____ 印

志願者氏名	
志願者の学力・適性等について、将来地域の創生や人づくりに貢献する意欲のある者という観点から具体的に記入してください。（記入後は厳封願います。）	
<h1>見 本</h1>	

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科地域学専攻
入学試験出願資格事前審査申請書

平成 年 月 日

鳥取大学長 殿

貴大学大学院持続性社会創生科学研究科地域学専攻入学試験に出願を希望します。
ついては、出願資格の事前審査を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

出願資格 (P.1 参照) に○ 【 (3), (4), (6), (9), (10), (11) 】

フリガナ				性別
氏名	(外国人の場合はパスポートネームを記入してください。)			男・女
生年月日	年 月 日生 (満 歳)	国籍		
現住所	〒			電話() -
審査結果の通知先 (日本国内)	〒			電話() -
最終学歴	国名： 大学名： 学部名： 学科名： 学士名： _____ 学士 年 月 卒業・修了			
志望コース・志望分野	コース			分野

- (注) 1. ※印欄は記入しないでください。
2. 添付書類:卒業した全ての大学の卒業証明書, 成績証明書及び履歴書(別紙)
(外国語で書かれた証明書等は, 英語表記で発行されたものを原則とする。英語以外の言語表記による場合は日本語訳(訳者の氏名・所属を明記)を添付)

履 歴 書

(出願資格事前審査用)

氏 名						
		学校名・所在地	修業年数	入学及び卒業年月		
学 歴	初等教育 (小学校)	学校名		年	入学 年 月	
		所在地			卒業 年 月	
	中等教育 (中学校 及び 高校)	中学	学校名		年	入学 年 月
			所在地			卒業 年 月
		高校	学校名		年	入学 年 月
			所在地			卒業 年 月
	高等教育 (大学)	学校名		年	入学 年 月	
		所在地			卒業 年 月	
	(大学院)	学校名		年	入学 年 月	
	所在地		卒業 年 月			
		学校名		年	入学 年 月	
		所在地			卒業 年 月	

研 究 歴	研究機関名		年	研究期間
	所在地			年 月~ 年 月
	研究機関名		年	研究期間
	所在地			年 月~ 年 月
職 歴	勤務先名		年	勤務期間
	所在地			年 月~ 年 月
	勤務先名		年	勤務期間
	所在地			年 月~ 年 月

日 本 語 の 学 習 歴	教育機関名		年	履修期間
	所在地			年 月~ 年 月
	教育機関名		年	履修期間
	所在地			年 月~ 年 月

整理番号	※
------	---

研究従事内容等申立書

氏名		志望コース ・志望分野	コース 分野
研究従事期間	年 月 日 ~ 年 月 日	従事の態様 (常勤・非常勤等の別)	
研究の内容 (これまでに研究した内容)			
<h1>見 本</h1>			
参考となる事項等			
上記のとおり相違のないことを申し立てます。			
平成 年 月 日			
現住所 〒			
氏 名			

(注) ※印欄は記入しないでください。

研究業績調書

		整理番号	※
氏名		志望コース ・志望分野	コース 分野
著書・論文・研究報告・作品等の題目	発表年月 年 月	発表雑誌の名称・発行所 学習内容又は研究概要を記載	
見		本	

- (注) 1. ※印欄は記入しないでください。
2. 研究業績を「著書」、「論文」、「研究報告」、「作品等」別に記載し、その原本又は写しを添付してください。

検定料振込依頼書

記入要領等

ご依頼日欄 : 振込年月日を記入してください。

振込先欄 : 山陰合同銀行鳥取営業部又は鳥取銀行湖山支店のどちらかを選び○印を付けてください。

ご依頼人欄 : 受験者本人の氏名(カナ欄及び漢字欄)を、丁寧に記入してください。

: 住所欄は、郵便番号及び電話番号もご記入願います。

※ 次の期間に振り込みをしてください。

推薦入試: 平成29年8月18日(金)～8月31日(木), 第1回: 平成29年10月19日(木)～11月1日(水), 第2回: 平成30年1月9日(火)～1月22日(月)

※ 必ず銀行窓口(郵便局, ゆうちょ銀行を除く)で払い込んでください。(ATMは利用しないでください)

※ 手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。

※ここから切り離して使用してください。

電信扱

振込依頼書 (取扱店保存)

ご依頼日	平成 年 月 日	電信扱	手数料						
振込先	山陰合同銀行 鳥取営業部 普通 3908393		金額	¥ 3 0 0 0 0 0					
	鳥取銀行 湖山支店 普通 0045136			円					
受取人	コクリツダイガクホウジン トトリダイガク 国立大学法人 鳥取大学		内						
ご依頼人	※ 金融機関様へ 必ず依頼人の研究科コード及び氏名(カナ)を打電してください。 研究科コード 10 氏名(カナ) _____ 氏名(漢字) _____ (住所) 〒 _____ (電話) () _____		収納印または振替印						
			課						
			印						

検定料振込金 (兼手数料) 受取書 (本人保存)

ご依頼日	平成 年 月 日	金額	¥ 3 0 0 0 0 0						
振込先	山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3908393		受取人	国立大学法人 鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 (電話) 0857-31-5029					
	鳥取銀行湖山支店 普通 0045136			ご依頼人	氏名(カナ) _____ 氏名(漢字) _____				
入試区分	平成30年度 鳥取大学大学院 持続性社会創生科学研究科 地域学専攻入学試験		手数料						
			(消費税込み)						
			上記金額正に受取りました。						
			(取扱店) _____ 銀行	取印	入紙				
			_____ 店						

検定料振込済証明書 (大学提出用)

ご依頼日	平成 年 月 日	金額	¥ 3 0 0 0 0 0						
振込先	山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3908393		受取人	国立大学法人 鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 (電話) 0857-31-5029					
	鳥取銀行湖山支店 普通 0045136			ご依頼人	氏名(カナ) _____ 氏名(漢字) _____				
入試区分	平成30年度 鳥取大学大学院 持続性社会創生科学研究科 地域学専攻入学試験								

※ 本票は、出願書類に貼り付けし、大学へ提出してください。

(取扱店) _____ 銀行
_____ 店

